

2021年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年6月14日

上場会社名 株式会社CAICA 上場取引所 東
 コード番号 2315 URL https://www.caica.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)鈴木 伸
 問合せ先責任者 (役職名)代表取締役副社長 (氏名)山口 健治 (TEL) 03 (5657) 3000
 四半期報告書提出予定日 2021年6月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年10月期第2四半期の連結業績(2020年11月1日~2021年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期第2四半期	2,675	△14.8	△243	—	△237	—	205	—
2020年10月期第2四半期	3,139	△19.7	△519	—	△618	—	△610	—

(注) 包括利益 2021年10月期第2四半期 181百万円 (—%) 2020年10月期第2四半期 △701百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年10月期第2四半期	3 23	—
2020年10月期第2四半期	△16 94	—

(注1) 2021年10月期第2四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、希薄化効果を有しないため、記載しておりません。

(注2) 2020年10月期第2四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(注3) 当社は、2021年5月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年10月期第2四半期	129,280	10,603	7.3
2020年10月期	11,297	9,239	81.8

(参考) 自己資本 2021年10月期第2四半期 9,448百万円 2020年10月期 9,237百万円

(注) 2021年10月期第2四半期における総資産の大幅な増加及び自己資本比率の大幅な減少については、株式会社Zaif Holdings及びその子会社を連結子会社として連結の範囲に含めたことによるものであります。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年10月期	—	0 00	—	0 00	0 00
2021年10月期	—	0 00	—	—	—
2021年10月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年10月期の期末配当予想額につきましては、現時点では未定であります。

3. 2021年10月期の連結業績予想(2020年11月1日~2021年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	6,940	15.6	127	—	123	—	15	0 24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

*2021年10月期(予想)の1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合後の金額を記載しております。詳細は「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 2社 (社名)株式会社Zaif Holdings、株式会社Zaif 除外 0社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年10月期2Q	63,507,064株	2020年10月期	63,507,064株
2021年10月期2Q	19,317株	2020年10月期	19,301株
2021年10月期2Q	63,487,757株	2020年10月期2Q	36,066,550株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 当社は、2021年5月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、「期末発行済株式数 (自己株式を含む)」「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記予想に関する事項につきましては、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の業績予想について)

2020年5月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。なお、株式併合を考慮しない場合の2021年10月期の連結業績予想は以下のとおりであります。

2021年10月期の連結業績予想 1株当たり当期純利益 通期 0円02銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第1四半期連結会計期間より、金融業向けを主としたシステム開発や暗号資産に関するシステム開発等を行う「ITサービス事業」と金融商品取引法に基づく第一種金融商品取引事業や暗号資産に関する金融商品開発等を行う「金融サービス事業」にセグメントを変更しております。

当第2四半期連結累計期間（2020年11月1日～2021年4月30日）におけるわが国経済は、政府から首都圏を中心とした緊急事態宣言が発令されるなど、国内外における新型コロナウイルスの影響は継続しており、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが事業を展開するITサービス業界及び金融サービス業界は、新型コロナウイルスの感染拡大を契機に、デジタル化の進展が更に加速し、国内外を問わず企業の業務形態が大きく変わることになると認識しております。

このような状況の下、当社グループは、IT金融企業として更なる深化を遂げるべく、「ITサービス事業」においては、一次請け比率の向上、自社ソリューション型商品比率の向上に努めました。「金融サービス事業」においては、暗号資産を原資産とした商品の開発、販売による売上拡大に努めました。

2020年11月、新たな事業領域であるSI事業者に向けた業務効率化支援サービスプラットフォームを運営する専門会社として株式会社C A I C A デジタルパートナーズを設立いたしました。

2020年12月、当社の100%子会社であるeワラント証券株式会社（以下、「eワラント証券」といいます。）とともに、国内外の暗号資産、主に有望なDeFi^{※1}案件への投資を迅速に実行していくために、暗号資産及び暗号資産デリバティブへの投資を行うEWC匿名組合の運営する「暗号資産ファンド」に出資いたしました。また、アートへの投資を行うとともに、出口戦略として一般的な相対での売却の他にNFT^{※2}の仕組みを活用した売却も視野に入れた、EWA匿名組合の運営する「アートファンド」に出資いたしました。EWC匿名組合、EWA匿名組合は当社の連結子会社に該当いたします。なお、NFTのシステムは、当社子会社の株式会社C A I C A テクノロジーズ（以下、「C A I C A テクノロジーズ」といいます。）が開発するブロックチェーンプラットフォームを利用します。

加えて、2021年3月、株式会社Zaif Holdings（以下、「Zaif HD」といいます。）の株式取得が完了し、当社の持分法適用関連会社から連結子会社となりました。なお、Zaif HDの子会社である株式会社Zaif（以下、「Zaif」といいます。）及び株式会社Zaif Capital（以下、「Zaif Capital」といいます。）も当社の連結子会社になります。なお、Zaif HDの子会社であるZaif及びZaif Capitalも当社の連結子会社になります。当第2四半期連結累計期間においては、Zaif HD、Zaif、Zaif Capitalの業績は、持分法適用関連会社として取込むとともに、貸借対照表のみを連結貸借対照表に取込み、損益計算書は第3四半期より連結いたします。

また、当社は自社で発行した暗号資産「C A I C A コイン」（単位:CICC）の流動性向上を狙い、新たに海外の暗号資産交換所に上場いたしました。現時点では、日本国内の「Zaif Exchange」、セイシェル共和国の法人が運営する「FinexBox」、上海及び台北を拠点とする「Hotbit」、エストニア共和国に本社を置く「Exrates」、シンガポールに本社を置きセイシェル共和国の法人が運営する「Digifinex」に上場しております。当社は暗号資産を発行している数少ない上場会社として、「C A I C A コイン」の海外投資家への認知度の向上や「C A I C A コイン」の利用範囲の拡大及び「C A I C A コイン」の可能性を追求し、革新的な金融サービスを創出してまいります。

※1 Decentralized Financeの略称で、金融分野におけるDAppsです。非中央集権の暗号資産交換所や、デリバティブ、レンディング等のサービスがあり、最も注目される分野の一つです。

※2 NFTとは「Non-Fungible Token」の略称で、代替不可能で固有の価値を持つデジタルトークンのことです。NFTではすべてのトークンは唯一無二で、また分割することができません。価値の高いアートにNFTを利用することで、新たな価値共有の形態を実現し、また、その価値交換市場を提供することが可能となります。

当第2四半期連結累計期間における売上高は2,675百万円(前年同四半期比14.8%減)となりました。CAICAテクノロジーズにおけるシステム開発については、新型コロナウイルスの影響により停滞していた新規案件の需要が復調傾向にあることに加え、既存の継続案件は引き続き堅調に推移いたしました。一方、eワラント証券の売上高(トレーディング損益)は、暗号資産を原資産とした新商品が好評であるものの、前第2四半期に蒙った株式市場の想定を超える大きな変動等による損失を機に、それまでの主力商品である個別株を対象原資産とするeワラントの販売を前年同四半期に比べ抑制している影響から低調に推移しております。さらに、前第2四半期連結累計期間は株式会社クシム(以下、「クシム」といいます。)の業績が3ヵ月分計上されておりますが、同社の全株式を売却し、連結から除外したこと等により前年同四半期比では売上高が減少しております。

営業損益につきましては、グループ全体で販売費及び一般管理費の削減に努め損失額は縮小いたしました。クシム売却やeワラント証券におけるトレーディング損益低迷の影響等により、営業損失は243百万円(前年同四半期は営業損失519百万円)となりました。

経常損益につきましても損失額は大きく縮小しておりますが、営業損失の計上に加え持分法による投資損失を25百万円計上したこと等から、経常損失は237百万円(前年同四半期は経常損失618百万円)となりました。

親会社株主に帰属する四半期純損益は黒字転換いたしました。当社は持分法適用関連会社であるZaif HDの株式を追加取得し、当社及びその子会社を子会社化いたしました。本追加取得に伴い、従前から保有する持分を当該追加取得時の時価で再評価することによる評価差益(段階取得に係る差益)1,379百万円を特別利益に計上いたしました。一方で、Zaif HD、Zaif及びZaif Capitalを当第2四半期連結会計期間に連結子会社化した際に発生したのれんについて、将来キャッシュ・フローの見積り額を基に回収可能性を検討した結果、当該のれんを回収可能価額まで減額し、当該減少額981百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。これにより親会社株主に帰属する四半期純利益は205百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失610百万円)と大幅に増加いたしました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントをITサービス事業と金融サービス事業に変更しております。以下の前年同四半期比較においては、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較していません。

1) ITサービス事業

CAICAテクノロジーズにおいては、新型コロナウイルスの影響により停滞していた新規案件は、顧客の新年度にあたる4月以降、復調傾向にあります。既存のシステム開発は引き続き堅調に推移いたしました。銀行、保険、証券等の金融機関向けのシステム開発分野は、引合い案件に丁寧に対応することで前年同四半期比を上回るペースで進捗しております。非金融向けシステム開発分野は、コロナ禍においても顧客の事業拡大意欲が引き続き強くIT投資も継続されており新規案件の引合いはやや減少したものの、前期に新規受注した継続案件が受注増となり拡大傾向を維持しております。暗号資産関連のシステム開発分野は、暗号資産交換所向けパッケージ「crypto base C」は引合いを獲得できていたものの受注には至りませんでした。一方、暗号資産交換所「Zaif Exchange」向けの案件は引合いが活発であり、受注が拡大しております。「Zaif Exchange」においては次世代システム開発構想が検討されており、第3四半期以降の受注に寄与する見通しであります。

また、リモートワークの広がりを受け、「セキュリティコンサルティング・サービス」の引き合いが前期に引き続き増加しております。「セキュリティコンサルティング・サービス」は、世界大手のシステムインテグレーターのコアパートナーとして積み上げたインフラ関連全般(設計・導入・運用・保守等)の基盤インフラ業務の実績に加え、暗号資産交換所におけるサイバーセキュリティの知見が評価されています。

さらに、NFTの発行、流通が可能なNFTプラットフォームの販売を開始いたしました。当該プラットフォームは今後、不動産やアートの所有権移転、トレーディングカードやゲーム内アイテムの交換・売買などの、様々な分野で利用される可能性があり、CAICAテクノロジーズではますます拡大するNFT市場にいち早く参入し、プラットフォーマーとしてのポジションを確立してまいります。

これらの結果、ITサービス事業の売上高は、2,486百万円(前年同四半期比2.4%増)、営業利益は190百万円(前年同四半期は営業損失75百万円)となりました。

2) 金融サービス事業

2021年3月、Zaif HDの株式取得が完了し、実質支配力基準により、同社が当社の持分法適用関連会社から連結子会社となりました。なお、Zaif HDの子会社であるZaif及びZaif Capitalも当社の連結子会社になります。当第2四半期連結累計期間においては、Zaif HD、Zaif、Zaif Capitalの業績は、持分法適用関連会社として取込むとともに、貸借対照表のみを連結貸借対照表に取込み、損益計算書は第3四半期より連結いたしません。

eワラント証券においては、2021年1月より新商品「ミニスプレッド型・ミニレンジ型eワラント（愛称「ネオW」）」の取扱を開始し、株式会社SBIネオモバイル証券向けに提供を開始いたしました。「ネオW」は、相場の上下を予測し少額から投資を行うことが可能なカバードワラントです。

2019年9月より開始した、eワラント証券自身による直接販売「eワラント・ダイレクト」については、口座数は2021年2月以降順次開始している暗号資産を原資産とした新商品の発表を受け、口座申込み数が増加しました。

2021年2月に取扱開始となった暗号資産を原資産とした新商品「ビットコインレバレッジトラッカー」（以下、「BTCLTR」といいます。）は、ビットコイン相場を対象とするeワラントで、暗号資産を対象とした個人投資家向け証券化商品としては日本初（eワラント証券調べ）の商品となります。当商品の対象原資産はシカゴマーカンタイル取引所に上場しているビットコイン先物であるため、ハッキングや盗難リスクなくビットコイン相場に投資をすることができ、少額からの投資が可能となっております。

またBTCLTRに次ぐ新商品として、2021年3月には「イーサリアムレバレッジトラッカー」（以下、「ETHLTR」といいます。）の取扱いを開始しました。BTCLTR及びETHLTR等の新商品の発表を受け、eワラント証券の口座申込み数が増加し、新たな収益基盤となっております。

一方、当第2四半期連結累計期間においては、前第2四半期に蒙った株式市場の想定を超える大幅な変動等による損失を機に、それまでの主力商品であった個別株を対象原資産とするeワラントの販売を引き続き抑制しております。

これらの結果、金融サービス事業の売上高は191百万円（前年同四半期は、△56百万円）、営業損失は210百万円（前年同四半期は、営業損失351百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

＜資産、負債及び純資産の状況＞

当第2四半期連結会計期間末における総資産は129,280百万円（前連結会計年度は11,297百万円）となりました。これは主にZaif HD、Zaif、Zaif Capitalを連結の範囲に取込んだことにより、利用者暗号資産98,648百万円、預託金17,658百万円が増加したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は118,676百万円（前連結会計年度は2,057百万円）となりました。これは主にZaif HD、Zaif、Zaif Capitalを連結の範囲に取込んだことにより、預り暗号資産98,706百万円、預り金17,898百万円が増加したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は10,603百万円（前連結会計年度比14.8%増）となりました。これは当第2四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益205百万円、非支配株主持分1,152百万円が増加したことなどによるものであります。

以上のとおり、当第2四半期連結会計期間末においては、自己資本比率が7.3%（前連結会計年度末は81.8%）となりました。

＜キャッシュ・フローの状況＞

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて860百万円減少し、4,100百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、795百万円（前年同四半期は809百万円の減少）となりました。主な減少要因としては、段階取得に係る差益1,379百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の増加は、97百万円（前年同四半期は327百万円の減少）となりました。主な増加要因としては、関係会社株式の売却による収入589百万円などによるものであり、主な減少要因としては、投資有価証券の取得による支出272百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、162百万円（前年同四半期は299百万円の減少）となりました。主な減少要因としては、長期借入金の返済による支出90百万円、社債の償還による支出70百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、本日公表の「特別利益（段階取得に係る差益）及び特別損失（のれんの減損）の計上に関するお知らせ」や他の要素を含め現在精査中であり、業績予想を修正すべきと判断した時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,960,433	4,100,326
預託金	62,000	17,720,200
受取手形及び売掛金	685,546	597,042
商品	3,242	345
仕掛品	77,402	56,407
自己保有暗号資産	-	180,088
利用者暗号資産	-	98,648,599
短期貸付金	-	1,200
未収入金	155,219	70,351
預け金	113,917	877,098
その他	81,790	130,366
流動資産合計	6,139,553	122,382,025
固定資産		
有形固定資産	69,961	157,824
無形固定資産		
ソフトウェア	126,365	250,654
のれん	24,553	5,840,240
その他	21,174	18,686
無形固定資産合計	172,094	6,109,580
投資その他の資産		
投資有価証券	4,845,179	443,536
出資金	9,493	59,175
長期貸付金	204,529	200,136
その他	83,480	149,538
貸倒引当金	△227,076	△221,776
投資その他の資産合計	4,915,606	630,611
固定資産合計	5,157,661	6,898,016
資産合計	11,297,215	129,280,042

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	195,967	205,326
1年内返済予定の長期借入金	180,000	180,000
1年内償還予定の社債	140,000	140,000
未払金	136,935	221,774
預り金	45,359	17,944,185
預り暗号資産	-	98,706,845
未払法人税等	39,827	27,813
未払消費税等	162,724	103,082
賞与引当金	154,029	155,700
その他	73,215	236,478
流動負債合計	1,128,059	117,921,206
固定負債		
社債	350,000	280,000
長期借入金	540,000	450,000
繰延税金負債	480	629
その他	39,449	24,499
固定負債合計	929,930	755,129
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	8	8
特別法上の準備金合計	8	8
負債合計	2,057,997	118,676,343
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,193,697	50,000
資本剰余金	9,856,787	12,508,137
利益剰余金	△3,805,449	△3,107,900
自己株式	△88,946	△88,954
株主資本合計	9,156,089	9,361,282
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△17,309	△13,207
繰延ヘッジ損益	△1,774	-
為替換算調整勘定	100,191	100,436
その他の包括利益累計額合計	81,107	87,228
新株予約権	2,020	2,953
非支配株主持分	-	1,152,234
純資産合計	9,239,217	10,603,698
負債純資産合計	11,297,215	129,280,042

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年11月1日 至2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年11月1日 至2021年4月30日)
売上高	3,139,004	2,675,524
売上原価	2,742,532	2,202,769
売上総利益	396,472	472,754
販売費及び一般管理費	916,190	716,360
営業損失(△)	△519,718	△243,605
営業外収益		
受取利息	5,109	11,680
受取配当金	432	1,725
投資有価証券売却益	2,448	-
賞与引当金戻入額	8,717	-
助成金収入	-	25,710
その他	5,618	9,290
営業外収益合計	22,325	48,406
営業外費用		
支払利息	11,510	4,224
支払手数料	14,337	5,052
持分法による投資損失	91,636	25,507
その他	3,987	7,087
営業外費用合計	121,471	41,871
経常損失(△)	△618,864	△237,071
特別利益		
貸倒引当金戻入額	5,300	5,300
関係会社株式売却益	57,962	15,311
段階取得に係る差益	-	1,379,593
特別利益合計	63,262	1,400,204
特別損失		
減損損失	12,089	981,292
固定資産売却損	2,415	-
特別損失合計	14,504	981,292
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△570,107	181,840
法人税、住民税及び事業税	46,186	6,209
法人税等調整額	△13,022	-
法人税等合計	33,164	6,209
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△603,271	175,631
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	7,526	△29,569
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△610,797	205,200

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△603,271	175,631
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△98,524	4,102
為替換算調整勘定	△11	244
持分法適用会社に対する持分相当額	156	1,774
その他の包括利益合計	△98,378	6,121
四半期包括利益	△701,650	181,752
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△679,930	211,321
非支配株主に係る四半期包括利益	△21,719	△29,569

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年11月1日 至2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年11月1日 至2021年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△570,107	181,840
減価償却費	40,144	28,115
のれん償却額	88,925	2,728
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,300	△5,300
賞与引当金の増減額(△は減少)	△251	1,670
受取利息及び受取配当金	△5,541	△13,405
支払利息	11,510	4,224
持分法による投資損益(△は益)	91,636	25,507
段階取得に係る差損益(△は益)	-	△1,379,593
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,448	-
関係会社株式売却損益(△は益)	△57,962	△15,311
株式報酬費用	5,354	932
減損損失	12,089	981,292
売上債権の増減額(△は増加)	42,825	88,503
たな卸資産の増減額(△は増加)	△129,391	23,658
預け金の増減額(△は増加)	△177,413	△747,678
仕入債務の増減額(△は減少)	3,836	9,358
未払消費税等の増減額(△は減少)	11,884	△76,512
その他	△162,821	72,020
小計	△803,030	△817,946
利息及び配当金の受取額	5,541	26,071
利息の支払額	△11,967	△4,729
法人税等の支払額	△8,347	△16,350
法人税等の還付額	8,479	17,926
営業活動によるキャッシュ・フロー	△809,324	△795,027
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,085	△82,160
無形固定資産の取得による支出	△72,045	△83,260
投資有価証券の取得による支出	△288,854	△272,229
出資金の払込による支出	-	△45,000
投資有価証券の売却による収入	7,102	-
関係会社株式の売却による収入	-	589,199
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△16,369
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	16,116	-
貸付金の回収による収入	14,944	5,340
その他	4,352	1,922
投資活動によるキャッシュ・フロー	△327,470	97,442
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	30,000	-
長期借入金の返済による支出	△254,988	△90,000
社債の償還による支出	△70,000	△70,000
自己株式の取得による支出	-	△7
非支配株主への配当金の支払額	△5,935	-
その他	1,577	△2,615
財務活動によるキャッシュ・フロー	△299,345	△162,622

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	859	101
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,435,282	△860,107
現金及び現金同等物の期首残高	2,564,276	4,960,433
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,128,994	4,100,326

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年1月28日開催の定時株主総会において、当社の繰越利益剰余金の欠損を補填し更なる財務体質の健全化を図り効率的な経営を目的とする無償減資及び剰余金の処分について決議し、2021年3月1日を効力発生日として資本金が3,143,697千円減少、資本準備金が3,472,113千円減少し、その他資本剰余金が6,615,810千円増加しております。また利益準備金が12,400千円減少、その他資本剰余金のうち492,347千円を繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補に充当しております。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が50,000千円、資本剰余金が12,508,137千円、利益剰余金が△3,107,900千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ITサービス 事業	金融サービス 事業	HRテクノ ロジー事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,352,737	△56,123	842,389	3,139,004	—	3,139,004
セグメント間の内部 売上高又は振替高	75,004	—	39,221	114,225	△114,225	—
計	2,427,742	△56,123	881,610	3,253,230	△114,225	3,139,004
セグメント損失(△)	△75,208	△351,504	△18,139	△444,852	△74,865	△519,718

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去の△9,050千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△65,814千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)運用に係る費用であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ITサービス 事業	金融サービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,484,514	191,009	2,675,524	—	2,675,524
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,399	—	2,399	△2,399	—
計	2,486,914	191,009	2,677,923	△2,399	2,675,524
セグメント利益又は 損失(△)	190,598	△210,837	△20,238	△223,367	△243,605

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去の△698千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△222,668千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)運用に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. HRテクノロジー事業は、前第3四半期連結会計期間において、前連結会計年度において連結子会社でありました株式会社クシムの保有株式すべてを譲渡し、同社を連結の範囲から除外し、HRテクノロジー事業から撤退しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第2四半期連結会計期間において、株式会社Zaif Holdingsの株式を追加取得し、持分法適用関連会社から連結子会社となったことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「金融サービス事業」のセグメント資産が122,189,252千円増加しております。

3. 事業セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、業績管理区分を見直しており、それに伴い報告セグメントの見直しを行っております。従来「情報サービス事業」としていた報告セグメントの名称を「ITサービス事業」、「金融商品取引事業」としていた報告セグメントの名称を「金融サービス事業」に変更するとともに、「暗号資産関連事業」を「ITサービス事業」と「金融サービス事業」へそれぞれ集約しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間において用いた報告セグメントに基づき作成したものを開示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結累計期間において、「金融サービス事業」を営んでいる株式会社Zaif Holdings、株式会社Zaif及び株式会社Zaif Capitalを子会社へ変更しました。当該事象によるのれんの増加額は、6,799,707千円であります。なお、将来キャッシュ・フローの見積り額を基に回収可能性を検討した結果、当該のれんを回収可能価額まで減額し、当該減少額981,292千円を減損損失を計上しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。